

平成30年11月30日

総務文教常任委員会会議録 審査内容

◇会議録

- 1 日 時 平成30年11月30日
開会 11時44分 閉会 12時01分
- 2 場 所 幕別町役場 3階会議室
- 3 出席者 委員長 小川純文 副委員長 谷口和弥
委員 荒貴賀 内山美穂子 乾邦廣
議長 芳滝仁
- 4 欠席者 中橋友子
- 5 傍聴者 板垣良輔 小田新紀 小島智恵 野原恵子
折原記者（勝毎） 東野記者（道新）
- 6 事務局 事務局長 細澤正典 議事課長 林隆則 庶務係長 遠藤寛士
- 7 審査事件および審査結果 別紙のとおり
 - 1 付託された陳情の審査について
 - (1) 陳情第10号 「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情書
 - 2 次期委員会への引き継ぎ事項の検討について
次回の委員会の際に、各委員からの意見を取りまとめていくこととした。
 - 3 所管事務調査項目について
教育委員会より、「第6次生涯学習中期計画」と「総合教育大綱」について説明したい旨の申し出があった。教育委員会では、12月19日に総合教育会議が行われる予定となっており、開催日については、それ以降の日程で調整したい旨、委員長より説明。
 - 4 各種団体との意見交換会について
札内スポーツクラブと実施の予定であるが、日程等の調整については委員長に一任とした。
 - 5 その他

総務文教常任委員会委員長 小川純文

◇審査内容

(開会 11:44)

○委員長(小川純文) ただいまより、総務文教常任委員会を開催いたします。

最初に諸般の報告を願います。

事務局長。

○事務局長(細澤正典) 中橋委員より、本日欠席する旨の届け出がありましたので、ご報告いたします。

○委員長(小川純文) それでは、議案に従って進めていきたいと思えます。

1番、付託された陳情の審査についてということで、(1)陳情第10号、「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情書ということであります。

皆さまにもお配りされているかと思えますけれども、この陳情書については、消費税増税中止ということで、いろいろな面に影響を及ぼす案件の陳情書かと思われるところもございます。この陳情案件につきまして、まずは皆さまのご意見を求めます。

荒委員。

○委員(荒貴賀) この陳情を読ませていただきました。内容につきましては、今の情勢を鑑みますと、このタイミングで上げるというのは、やはりいかなるものかというふうには強く感じる場所があります。

特に8%に増税がされてから4年半が経ってきたのです。その間にも2度増税が延期されてきました。やはり、そうした大きな要因となったのは、日本の経済状況がなかなか回復していないというところで増税延期がされてきました。今の状況も消費がまだ冷え込んだ状態で、この冷え込んだ状態でさらに引き上げを行うということは、特に地方は本当に深刻な状況に陥るとすることも想定されています。

そういう観点からこの陳情の増税を行わないということは、今の状況に合わせて大変重要であるというふうに感じておりますので、賛同できるというふうに感じております。以上です。

○委員長(小川純文) ほかにご意見はございませんか。

谷口副委員長。

○副委員長(谷口和弥) 消費税増税については、様々な考え方があるのだというふうに思えます。今、そのことの中身についてということよりも、これからの審議ということについて、ちょっと意見を述べさせていただきたいのですが。

議運の委員の方々は開会前の議運で、それから一般のそうではない議員は議案書事前配布の中でこの陳情をはじめ知って読むと。事前にそういうことになったわけですがけれども。十分な審議が必要かなという思いの中では、きょうは、これからしっかり検討していきましょうということの意思統一と、それから会期中での再度審査をするということを私は求めるべき、要は慎重な審議を求めて、きょうのところは、それぞれ意見を述べることは、それはあるのでしょうけれども、そこまでに留めるところでよろしいのではないかとこのように思えます。以上です。

○委員長(小川純文) ほかにご意見はございませんか。

ないようであれば、ただいまは慎重にこの消費税についてはいろいろな背景、そういったものがございまして、今定例会の中におきまして、慎重な議論、審議をもって進

めていくということで、本日はこの程度に収めさせていただきまして、また、委員の皆さん各会派等のご意見も伺った中で、今後の審議の中で幅広い意見を出していただければ、論議を深めていけるのかというふうに思いますので、きょうのところは、この程度に収めて、後日の委員会で再度また論議を深めさせていただくということによろしいでしょうか。

(よいの声あり)

○委員長(小川純文) それであれば、次回の日程等はまた協議しながら進めていきたいと思っておりますので、この陳情の案件につきましては、本日のところはこの程度で終わらせていただきます。

乾委員。

○委員(乾邦廣) 会期中の継続審査は、いつ頃の日を予定されるのか、その辺も話合っておいたほうがよろしいと思いますが。

○委員長(小川純文) 今それは、話そうと思っていました。

それでは、きょうが会期初日でございますけれども、11日、12日は一般質問が予定されております。今回12名ということで、6名、6名という一般質問になろうかという予定を聞いています。また、他の議案の関係、委員会の開催日の関係、事務局のほうで若干調整の余地があるということでもあります。11日の議運では確定するかとは思いますが、12日、13日のどちらかでの委員会の開催にはなるのではなかろうかというふうに、今、予定としての段階の話でありますけれども、そのようにご認識いただければいいのかなというふうに思っております。よろしいでしょうか。

(よいの声あり)

○委員長(小川純文) それでは、この1番、陳情の審査については、以上で終わらせていただきます。

以上で委員会のネット中継を終了させていただきます。